

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2026年 2月 26日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	青木マリーン株式会社
所在地	〒108-0014 東京都港区芝 4-6-12
代表者役職・氏名	代表取締役 浅賀 雅彦
担当者連絡先	電話：03-6453-9656 安全品質環境部 西沢 倫明 メール：m-nishizawa@aokimarine.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.aokimarine.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は港湾を中心として海上土木工事、浚渫・埋立工事の請負事業を実施している企業である。</p>
--


















3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 ✓社会 ✓経済	自然エネルギーの活用、低燃費型施工機械・低燃費型連絡車両導入、使用電力削減によるCo2削減への取組	Scope1.2. (2023年度比) 42%削減
✓環境 ✓社会 ✓経済	循環型社会に向けた建設発生材の再資源化への取組	再資源化促進 アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊の再資源化率 99%以上
✓環境 <input type="checkbox"/> 社会 ✓経済	時間外労働の適正化に向けた働き方改革の取組	作業所閉所率 (4週8閉所) 90%以上 残業時間 60時間 (月平均) 以下

(次項へ続く)

## SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	社員のエンゲージメント向上のためのe-ラーニング教育の実施。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	社員へe-ラーニング教育によりハラスメント教育の実施。 パワーハラスメント・セクシャルハラスメント対応のハラスメント相談窓口を設置し、相談体制の整備。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	労働基準法等の改正内容を経営陣を含めて共有し管理体制の整備、働き方改革目標に現場作業所4週8閉所を掲げ、休日出勤および残業時間の削減への取組。PCのログイン・ログオフ打刻管理により労働時間を把握し長時間労働の防止を実施。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	各現場においては本社の安全品質管理部にて安全衛生環境パトロールを実施し、労働環境の整備と労働災害防止の安全教育に取り組む。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる				3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる						5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	資格取得に向けての教育体制整備、取得費用の会社負担および補助を行う。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	就業規則を整備し、順守している					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	健康診断の実施、再検査の費用の補助、予防接種の補助を行って、社員の健康管理向上に取り組む。			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	建設副産物の発生の抑制、再利用の促進、リサイクルの推進、適正処理の取り組みを行っている										11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	室内蛍光灯削減、昼休み消灯、カラー機カラー印刷削減実施している。								7.3				13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	低燃費型重機・低燃費型連絡車(ハイブリット車含む)の導入促進への取り組みを予定している。 Co2排出量低減型の建設機械を積極的に採用している。								7.2 7.3			12.4	13.3					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	リスクアセスメントの実施と法令遵守の確認を行っている。			3.9			6.3				11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6									15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している												12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	各現場作業所での再生エネルギー利用推進を行っている。							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15			
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9								12.4						
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	持続可能な社会の構築に向け、『海洋環境の改善に努め、自然や社会との共生を計り、お客様の信頼に答え得る最良のサービスを提供し、社会に貢献』を企業理念としている 施工検討会 等による品質向上の構築に努める。															9		
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6					12	13	14	15			
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	自社請負工事の周辺住民とのコミュニケーションを積極的に実施し、関連する施工内容が周辺環境に影響するかを把握し、必要な措置を行い適切に対応している。				4						9	11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる					4						11			14	15			17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9	11	12	13					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	社内電子ツールによる全社員への周知。								8	9							17	
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	社内のコンプライアンスマニュアル、内部通報規程を制定すると共に全社員向けコンプライアンス研修およびeラーニング教育の実施。															16		
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	各部署の所属長が責任を明確化していて経営者のトップダウンが出来ている。															16		
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	経営目標に『我が社にかかわる多くのステークホルダーに「より高い満足感」を感じてもらえるような』を目標に掲げ、適切な対応をしている 各施工現場においては近隣住民の方々とのコミュニケーションをはかり施工内容のついてのご理解を得る。														16	17		
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	品質環境および安全の目標を設定し、対策の検討を行う。															16		
33	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																16		
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している										9		11		13.1		16		
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
Upcycle (アップサイクル) によるプラスチックごみの削減・Co2削減と発展途上国への医療支援 をおこなうエコキャップ活動へ賛同した取組み	エコキャップBOXの設置	1	2											13	14			

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載して下さい。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載して下さい。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載して下さい。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。